

科目名	サンスクリット語基礎学Ⅰ					単位	2.0
担当教員	浅野 玄誠						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5201

●授業のテーマ

古典サンスクリット語の基礎

●到達目標

- ・世界でもっとも古い言語の一つであるサンスクリットを学ぶことによって、言葉の成り立ちの歴史を理解する。
- ・言語が人間の思想に与える影響についての見識をもつ。

●学習内容(授業概要)

サンスクリットはインド思想の根底において、それを支えるための宗教的言語・雅語としての役割を与えられた。本講では、インドの文法の三聖と称されるパーニニ、カーティアヤーナ、パタンジャリによって規定された古典サンスクリット語の基礎を学ぶ。

仏教やその他のインドの思想文化を研究するための必須の文化語であるばかりでなく、言語の原理的な基準を持つ語であって、この言語を学ぶことは、同時に言葉の歴史と意義を考えることになる。その単語は、インドシナ、中国、日本にまで伝播され、各地域での日常語になっている。

文法は一見難解であるが、非常に論理的である故、正しく理解すれば、確実な読解を可能とする。できる限り平易な方法論によって基礎力をつけたい。

サンスクリット語基礎学Ⅰでは、主に文法事項を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. サンスクリット語とは何か？
2. 文字・書法・発音
3. 母音の階次と連声(1) テキスト pp. 9-12
4. 母音の階次と連声(2) テキスト pp. 12-20
5. 名詞・形容詞の格変化(1) テキスト pp. 21-26
6. 名詞・形容詞の格変化(2) テキスト pp. 26-30
7. 名詞・形容詞の格変化(3) テキスト pp. 30-35
8. 名詞・形容詞の格変化(4)と接尾辞 テキスト pp. 35-38
9. 代名詞・数詞
10. 動詞活用(1) 現在語幹第一種活用
11. 動詞活用(2) 現在語幹第二種活用
12. 動詞活用(3) 過去
13. 動詞活用(4) 未来
14. 動詞活用(5) アオリスト他
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

”学びあい”にチャート集、問題集、テキストを掲載するので、ダウンロードして、授業中の指示に従って準備する。

●成績評価方法・基準

平常点50点+日常レポート50%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：サンスクリット語初等文法、著者名：J. ゴンダ（辻直四郎 校閲、鎧 淳 訳）、出版社：春秋社、販売先：生協

●参考文献／その他

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波全書）。

鈴木学術財団編『漢訳対照 梵和大辞典』講談社。

M. Mnoier-Williams "Sanskrit-English Dictionary" Meicho-Fukyukai.

Prin. Vaman Shivaram Apte "The Principal Sanskrit-English Dictionary" Rinsen.

●履修上の注意

後期の人文学講読演習（バガヴァッド・ギーター講読）とセットで受講することが望ましい。